

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 内線3811
部 名	消防本部	課 名	防災課	課長名	井上仁志
事務事業名	避難場所維持補修事業				
予算上の事務事業名	避難場所維持補修費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23120	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第2施策 防災対策の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	災害対策基本法、相模原市地域防災計画				
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市地域防災計画		避難場所や避難経路などの防災空間を事前に確保することにより避難者の安全対策を図る		
計画年次	昭和39	年度～		年度	
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	災害時の市民の生命、身体を守る安全な広場及び被災地の収容施設を確保するため、広域避難場所及び避難所設備の適正な維持管理を行うことを目的とする。		(2) 対象 (誰、何)		
			広域避難場所、案内板・誘導標識、避難所設備、防災備蓄倉庫、備蓄資機材、災害時井戸		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。	広域避難場所21箇所、避難所82箇所、防災備蓄倉庫111箇所、災害時用井戸1箇所等の維持管理等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域避難場所案内板・誘導標識の修繕、維持管理 ・ 防災備蓄倉庫電気料 ・ 避難所非常用発電設備、防災備蓄品維持管理(保守点検、修繕等) ・ 災害時用井戸維持管理 (保守点検) 				
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体も同様な目的で実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	8,256	8,925	9,208	21,602	21,602
一般財源	7,589	8,253	8,538	20,932	20,932
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	667	672	670	670	670
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	8,256	8,925	9,208	21,602	21,602
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	広域避難場所案内板等維持管理			対象名称と単位	広域避難場所案内板等の箇所数 (箇所)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	953	921	1,077	1,076	1,076
対象数	794	794	950	968	968
単位あたり経費(円)	1,200	1,160	1,134	1,112	1,112
前年度比		0.97	0.98	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	案内板等設置箇所数(箇所)	指標式と指標の説明	案内板等の維持管理実施箇所数(箇所)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	794.0	794.0	950.0		
目標	794.0	794.0	950.0	968.0	968.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	維持管理の実施割合(%)	指標式と指標の説明	維持管理実施箇所数÷案内板等設置箇所数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		災害時の市民の生命、身体を守る安全な広場等を確保するためには、継続的な広域避難場所及び避難所設備等の適正な維持管理が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
地震等の災害発生時における避難者の安全対策を図るためには、市民一人ひとりが日頃から広域避難場所や一時避難場所への経路の確認を行なうなど防災意識の向上を図る必要がある。			津久井地域との合併により新たな災害対策を講じる必要があることから、広域避難場所、一時避難場所、避難所設備等の新たな適性な配置計画が求められるとともに、各地域事務所との連携を図りながら、各地域の防災設備等の効率的な維持管理が必要となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			